

目指す子供の姿

- 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や、活動を行う上で必要となることについて理解している。
- 自己の生活の充実・向上や自分らしい生き方の実現に必要となることについて理解している。
- よりよい生活を築くための話し合い活動の進め方、合意形成の図り方などの技能を身に付けている。
- 所属する様々な集団や自己の生活の充実・向上のため、問題を発見し、解決方法について考え、話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりして実践している。
- 生活や社会、人間関係をよりよく築くために、自主的に自己の役割や責任を果たし、多様な他者と協働して実践しようとしている。
- 主体的に自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとしている。

目指す子供を育成するための教師が取り組む具体的な実践内容**①「合意形成を図る」「意思決定を行う」活動の充実**

- ◇議題や題材を選定・設定し、根拠を明確にして自分の考えを話したり、意図を捉えながら聞いたりして、「折り合いを付けながら集団として合意形成を図る」「集団思考を生かした一人一人の意思決定を行う」話し合い活動ができるように指導・支援を工夫する。

②「多様な考え」「自分の考え」をよりよい方向へつなげていく活動の充実

- ◇実践や体験を通して感じたり、気付いたりしたことを振り返り、言葉でまとめたり、対話したりする活動を重視するとともに、次の活動に生かすことができるように支援する。
- ◇「生成AI時代の主権者」として、確かな民主主義の担い手を育み、共生社会を実現する基盤を提供する領域として、ICTを活用する場面を適切に選択し、教師の丁寧な指導の下で効果的に活用する。

③合意形成したり、意思決定したりしたことを実践する活動の充実

- ◇合意形成したことを基に、全員で役割を分担して協力したり、意思決定したことを基に、個人として努力したりして、目標の実現や達成を目指すよう支援する。
- ◇児童が実践や体験を通し、集団の一員としての望ましい生き方についての認識をもつことができるよう、各教科、道徳科、外国語活動及び総合的な学習の時間などとの関連を図った指導をする。